

〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中 4-1-
富士通株式会社
社長 時田 隆仁 様

2021年11月6日



FMR-50λ、FMR70Σの基本設計をした元社員のお願い

以前にも同じ内容のお願いをしましたが、再度お願いします。

時田 隆仁様が、力を入れている成果主義と正反対の企業統治が行われ隠蔽され続けているのです。大きな成果を上げた社員が、上司たちの妬みで、何のご褒美をいただくこともなく、暴力で会社を追い出されたのです。

私は、FM-R50λ FM-R70Σの基本設計をした者です。

1つのパソコン内に2つの異なるCPUを搭載し、2種類のオペレーティングシステムを同時に動作させるというアイデアを発案し、商品化され、大ヒット商品になりました。

しかし、

私は、FM-R50λ FM-R70Σのアイデアを発案し、大きな成果を上げたにもかかわらず、この成果を妬む上司達によって、

1円のご褒美を受けることなく、パワハラを受け続け、暴力で無理やり辞表を欠かされ、会社を追い出されました。そして、消えることない心の傷と不信感ができました。

繰り返し是正を求めてきましたが、無視され続けています。逆に脅迫されることもありました。過去に遡って是正してください。

暴力で退職させられたことに対する補償・慰謝料、(30年分の利子も含めて)受け取れなかったご褒美を支払ってください。

この事件があった子会社 PFU は、社長を含む幹部たちの保身のため、自浄能力を失い、この事件を隠蔽し続けています。親会社の富士通が責任をもって補償してください。

以下に、より詳しく説明します。

(1) 支払われなかったご褒美

ご褒美として賞与が大幅に増額されることになっていました。しかし、総務の責任者の

大門薫（富士通出身者）が、勝手に減額したため、一円も受け取れませんでした。総務の小橋から、総務の責任者の大門が勝手に減額した事実を聞かされました。会社はこの事実を隠蔽し、ご褒美は支給されることはありませんでした。

その後も今日に至るまで、私は、一円のご褒美も受け取っていません。当時の社長の三枝、幹部の成毛、竜田、川口は、自身の保身のため、総務の責任者の大門薫の悪事を隠蔽したのです。

（2）上司が菊池秀樹に変わると、菊池秀樹は私の成果を妬み、私に激しいパワハラを行いました。菊池秀樹の下で、私は、会社に行ってもする仕事が無い状態が続きました。その一方で、菊池秀樹は、幹部の竜田に対し、「私が仕事をしない」とウソの報告をしていました。さらに、私は、菊池秀樹から言葉による暴力を受け続けました。

一度、菊池秀樹のパワハラが発覚しました。しかし、社長の三枝、幹部の成毛、竜田、川口は、パワハラを隠蔽し、菊池秀樹に権力を与え続けました。

会社は、パワハラ of 被害者である私に退職を強要したのです。幹部の川口は、パワハラ of 被害者である私に退職を強要しました。その言い方は、「会社に居たければ、（パ

ワハラをしている）菊池秀樹に謝れ。謝らないのなら会社を辞めろ。」

でした。会社のあまりにも理不尽な要求に、私は言葉がありませんでしたが、がまんして会社に居続けました。

しかし、その後も、菊池秀樹のパワハラは止むことはありませんでした。そのため、私は、社長の三枝、幹部の成毛、竜田に助けを求めました。しかし、社長の三枝、幹部の成毛、竜田は、私の訴えに耳を貸さず、逆に、私に退職を強要しました。

総務の柴田に呼び出され、総務の柴田から激しい罵声を浴びせられ、脅され、無理やり辞表を書かされました。心にどれだけ大きな傷ができたか判りますか。

トラウマです。私の心に癒えることのない大きな傷ができました。会社に対して、社長の三枝に対して、幹部の成毛、竜田、川口に対して、どれだけ大きな不信感を持ったか判りますか。

菊池秀樹はその後も何の処罰も受けずに権力の座に居続けました。菊池秀樹は人の姿をした「悪魔」です。その菊池秀樹が権力を持つ職場はとても危険なところです。私の後も、菊池の立場を脅かしかねない功労者が退職を強要されていました。例えば、社員の濱中憲生氏が私に、「会社の幹部から呼び出され退職を強要された」と言いました。もし、私が会社に戻れば、また、上司の罠にはめられ、ひどい目にあうことは明らかです。

（3）退職後も、繰り返し威迫を受けました。JR 新大阪駅の近くの喫茶店でコーヒーを飲んでいると、PFU の男性社員 5～6 人がその喫茶店にやってきて、私を取り囲み、しばらくの間、無言で私を睨み付けた後、去っていきました。これは、明らかな脅迫です。

幹部の成毛は、JR 魚住駅（兵庫県）で私を待ち伏せしました。ふと気づくと成毛が私の

すぐ横、腕が触れ合わんばかりの所に立っていました。そして、無言で私を睨み続けました。私は、心の傷が大きく開き、腹の底から怒りがこみあがってきました。そして、身の危険を感じ、睨み返しました。しばらくすると、成毛は、無言で立ち去りました。

幹部の川口は、JR 土山駅（兵庫県）で私を待ち伏せしていました。片手にスマホを持ち、他方の手にデジカメを持ち、私を盗撮していました。私が川口に気づき近づきかけると、川口は、「わあっ」と大きな叫び声をあげ、走って逃げました。そして、タクシーに乗って逃げ去りました。下の写真は、JR 土山駅で川口がタクシーに乗って逃げようとしたときのものです。

PFU は、成果主義の真逆のことを続けているのです。大きな成果を出した若者を、上司達が妬んで、よってたかっていじめて追い出したのです。PFU には、自浄能力がありません。親会社の社長として、自浄能力の無い子会社 PFU かわり、補償してください。



以上